ETロボコンコーディング規約　ver.1.1

製作者：髙岡諒太、宇都宮正章

1.基本は桝井先生に作っていただいたコーディング規約に準拠する。

2.ソースファイル名は、ソースに記述するクラス名と同名にする、ヘッダーファイルも同様に命名することとする。

3.パッケージ図におけるパッケージ部分をフォルダーに、クラス部分をファイルにして分ける（一つのソースに一つのクラスを記述）。この際別のパッケージのヘッダーを使う際includeに相対パスを記述しなければならない事に注意する。

4.クラス名の命名規約

パッケージ名のイニシャルを小文字で、クラス名を先頭大文字で単語間をアンダーバーでつなぐ

アンダーバーの後の単語も先頭大文字。

各パッケージのイニシャルを記す

コース攻略:cr

初期設定:st

走行補助:ra

走行:rn

デバイス制御:dc

デバイス取得:dg

デバイス:dv

難所:rs

パッケージに入ってないクラス:fr

例）ライントレースの場合:rnLine\_Trace

※各クラスの英語は調べて確実に、心配な場合は要相談。

5,関数名の命名規約

関数名は各単語を先頭大文字で書く

例）ライントレース確認:LineTraceCheck

※各関数の英語は調べて確実に、心配な場合は要相談。

6.変数名の命名規約

先頭型のイニシャルを記述。

変数名はすべて小文字で記述

例）比較用カラー値:i\_comparison\_color

※各変数の英語は調べて確実に、心配な場合は要相談。

7.略語の際の記述

例）index=idx, control=cntrl, buffer=buf,

分かりやすく、検索可能な文字にする。（iなど1文字にすると、全検索でprintfのiなどにも引っかかる）

わかりやすく省略できない場合は他の人に相談するか、省略せず書く。

8.ライブラリーの変数名、クラス名、関数名は変更しない。